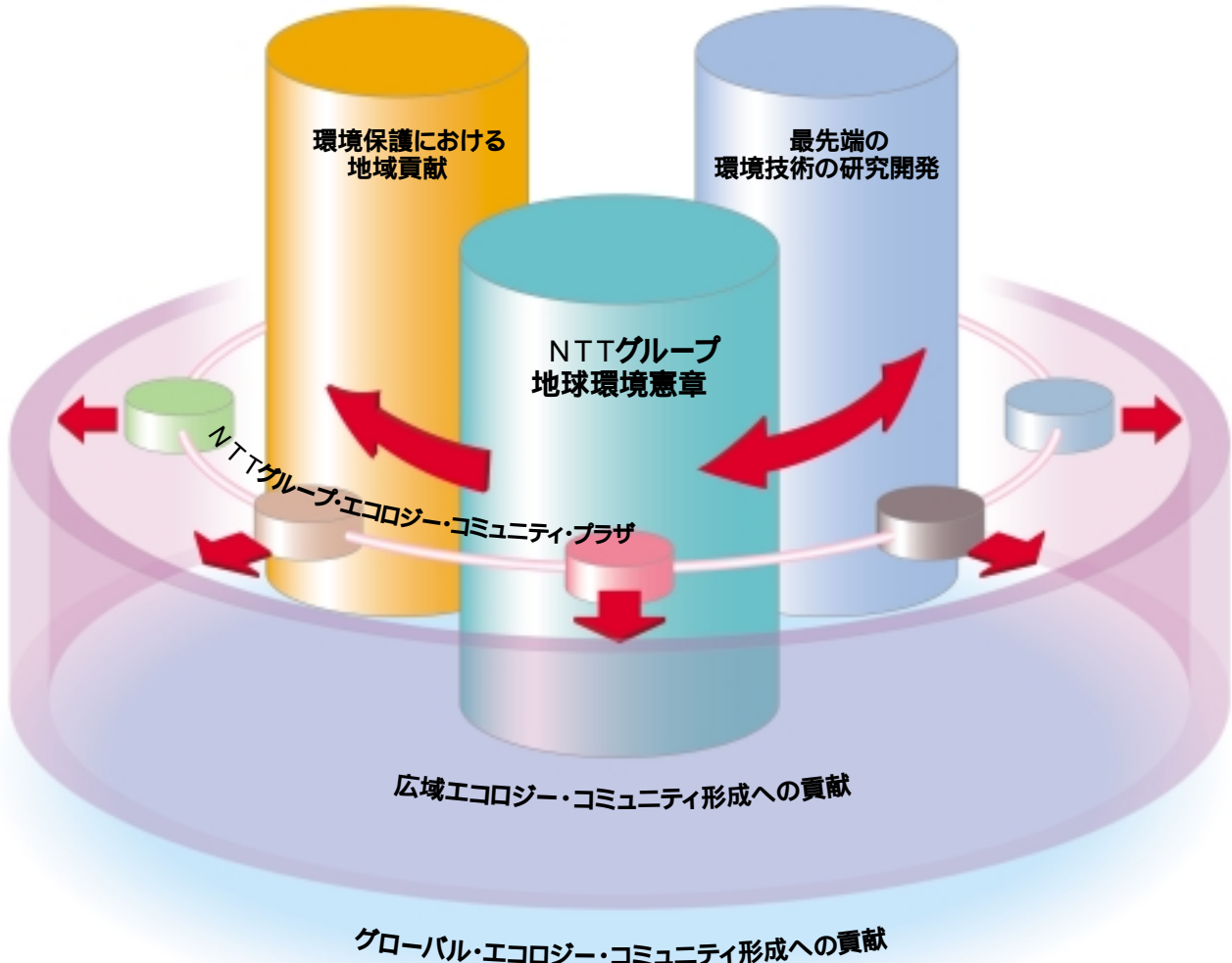


地球の未来を考えた環境保全活動
NTTグループ・エコロジー・プログラム21

NTTグループは、21世紀に向け、環境保全が地球的規模で取り組むべき課題であることを認識し、「NTTグループ・エコロジー・プログラム21」と名づける施策に対し、グループを挙げて取り組み、地域を出発点としてグローバル・エコロジー・コミュニティ形成に向けて貢献することとします。



NTTグループ・エコロジー・プログラム21の三本柱

2
環境保護における
地域貢献
地域コミュニティへの貢献

地域に根ざした多彩で多様なNTTグループ環境保護活動を展開します。
このための拠点として地域コミュニティ形成に貢献することを目的とした環境保護活動情報発信・交流の場として「NTTグループ・エコロジー・コミュニティ・プラザ」を設立していきます。
具体的には、いくつかのモデル支店により、地域に密着した、多彩で多様な環境保護活動を行い、その効果を検証しつつ、順次、全国に展開して行く予定です。

1
NTTグループ
地球環境憲章
グループ内の意識統一

NTTグループとして環境保護に取り組む基本姿勢として制定します。
これに基づくNTTグループ主要行動計画目標（基本プログラム）を元に各種施策を実行し、企業責任として、2010年を目標として紙、CO₂、廃棄物などの削減に向けた取り組みを行います。

3
最先端の
環境技術の研究開発
最先端の
情報流通技術による貢献

情報流通企業グループとして、最先端の情報流通技術による環境負荷低減の追及と新しい生活様式の研究開発を行います。
(研究開発実施例)
電気通信設備の省電力化、省エネルギーのための極低消費電力LSI、単電子デバイス、低電力消費実装法、クリーンエネルギー技術、PCB無害化技術、光ファイバーリサイクル技術、プラスチックリサイクル技術、および環境負荷低減のための情報流通として環境センシングネットワーク、気象予測技術

NTTグループ地球環境憲章

【前文】

人類が直面している地球温暖化、オゾン層破壊、熱帯林の減少、砂漠化、酸性雨、海洋汚染などの深刻な地球環境破壊は、これまでに築き上げてきた社会システムに起因しており、企業の事業活動がこれに密接に関わっていることを深く認識する必要がある。

企業として、将来の世代に禍根を残さないよう持続可能な発展に向けて真摯な姿勢で事業活動と地球環境保護を両立させなければならない。

かかる基本認識に立ち、ここにこれら地球環境問題に対するNTTグループとしての基本理念と、具体的取り組みを方向づけるための基本方針を明示する「NTTグループ地球環境憲章」を定める。

【基本理念】

人類が自然と調和し、未来にわたり持続可能な発展を実現するため、NTTグループは全ての企業活動において地球環境の保全に向けて最大限の努力を行う。

【基本方針】

- 1) 法規制の遵守と社会的責任の遂行
 - ・環境保全に関する法規制を遵守し、国際的視野に立った企業責任を遂行する
- 2) 環境負荷の低減
 - ・温室効果ガス排出の低減と省エネルギー、紙などの省資源、廃棄物削減に行動計画目標を設定し、継続的改善に努める
- 3) 環境マネジメントシステムの確立と維持
 - ・各事業所は環境マネジメントシステムの構築により自主的な環境保護に取り組み、環境汚染の未然防止と環境リスク低減を推進する
- 4) 環境技術の開発
 - ・マルチメディアサービス等の研究開発により環境負荷低減に貢献する
- 5) 社会支援等による貢献
 - ・地域住民、行政等と連携した、日常的な環境保護活動への支援に努める
- 6) 環境情報の公開
 - ・環境関連情報の公開により、社内外とのコミュニケーションを図る

NTTグループ主要行動計画目標

項目	行動計画目標
	1999年制定、2010年の目標値
紙資源節減	純正パルプ総使用量 2010年に、1990年の20%以上減とする
温暖化防止	CO₂排出量 2010年以降、1990年レベル以下とする
廃棄物節減	廃棄量 2010年以降、1990年レベルの65%以上を削減する
オゾン層保護	フロンガス （1995年に新規使用全廃済）

* 本行動計画目標は、目標の達成状況、環境問題要因説明・保護技術向上、法律、国際条約等に合わせ適宜見直すこととする。